

組織概要

名称	公益財団法人 沖縄県保健医療福祉事業団	目的	県民の保健及び医療の向上と福祉の増進に関する事業を行い、本県の保健医療福祉に寄与することを目的とする。
所在地	沖縄県浦添市沢岬2丁目23番1号	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり運動普及啓発事業 臓器移植推進事業 ファミリーハウス事業 勤労者福祉事業
設立	昭和49年3月29日		

沿革

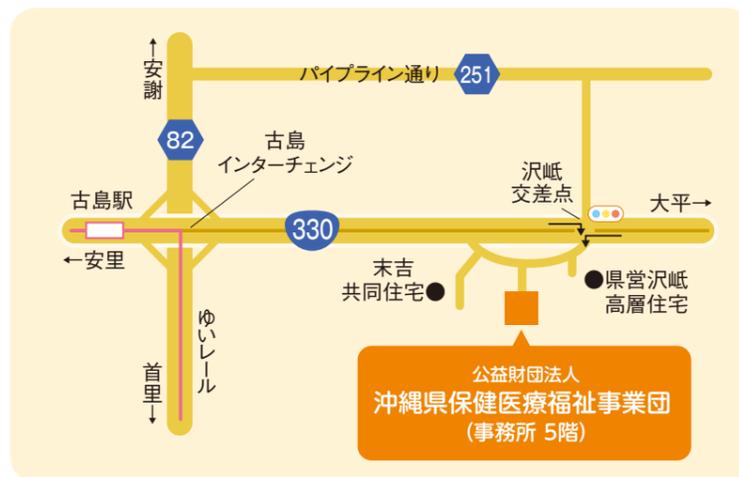
年月	概要
昭和49年 3月	財団法人沖縄県保健医療福祉事業団設立
昭和49年12月	保健医療福祉資金貸付事業開始(昭和49年度～平成11年度迄)
昭和51年 4月	医学生等修学資金貸付事業開始(昭和51年度～平成11年度迄)
昭和56年 2月	沖縄県総合健康増進センター開設
平成元年 5月	腎臓バンク事業開始
平成17年 4月	沖縄県総合健康増進センター施設を民営化
平成20年 4月	臓器移植連絡調整者設置事業開始(県より受託)
平成20年 6月	ファミリーハウス「がじゅまるの家」開所
平成24年 4月	勤労者福祉事業開始(就労支援団体助成)
平成25年 4月	公益財団法人へ移行
平成30年 6月	ファミリーハウス「がじゅまるの家」10周年
平成31年 3月	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団設立45周年



公益財団法人 沖縄県保健医療福祉事業団

事業案内

アクセス



もっと大きな健康の輪を！

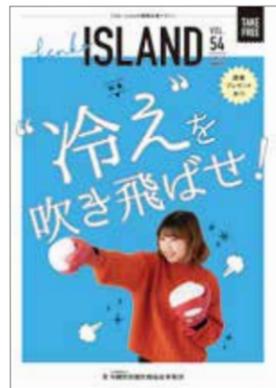
公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団（Well-being Agency of Okinawa）は、県民の“ウェルビーイング＝心身ともにすこやかで幸せな毎日”をサポートするために、様々な事業を展開しています。



健康づくり運動普及啓発事業

連携・協働による県民の健康力アップに取り組みます。

沖縄県が策定した『健康おきなわ21（第2次）～健康・長寿おきなわ復活プラン～』を踏まえ、行政機関や関係団体と連携した健康づくりの普及啓発活動を行っています。情報誌『kenko ISLAND』の発行をはじめ、各種メディアを活用した健康情報の発信や、イベント・講演会・セミナー等の開催を通じて県民の健康づくりをサポートしています。また、市町村や関係機関・団体等の健康づくり活動に対する助成支援により、沖縄県全体における健康づくりへの機運を高め、健康・長寿おきなわの復活を目指します。



健康情報誌
『kenko ISLAND』
毎号ひとつの特集テーマにフォーカスした県民の健康応援マガジン。公式ウェブサイト『kenko ISLAND web』では冊子版との連動コンテンツやオリジナル記事を随時更新。



「kenko ISLAND web」
はこちら



ココカラプラスフェス



高校生向け「お笑い健康教室」



勤労者福祉事業

勤労意欲のある人に対する
就労の支援を助成します。

沖縄県内の労働者の状況は、様々な経済・雇用事情から離職率が高いことや、正規雇用率が低いなどの問題があります。就労支援のノウハウと関係機関とのネットワークを活用し、就労支援を行う団体に対し助成事業を行うことで、雇用制度や施策の隙間で十分な支援を受けられずにいる就職困難者の支援を行っています。



臓器移植推進事業

県内にグリーンリボンの輪を
広げていきます。

沖縄県における臓器移植を推進していくことを目的に、より多くの県民に臓器移植について関心をもってもらう、臓器提供の意思表示を促進していきます。また医療機関に対しても、臓器提供の院内体制整備を促し、そのサポートなどを行います。「臓器提供したい」「臓器提供したくない」「移植を受けたい」「移植を受けたくない」4つの権利が等しく尊重され、県民の誰もが臓器移植医療を受けられる社会の実現を目指します。

YES でもいい。
NO でもいい。
あなたの意思を表示しよう。



他にも意思表示カードやマイナンバーカード、インターネットで意思表示が可能です。

広げよう、
臓器移植普及の輪を！

グリーンリボン
OKINAWA



ファミリーハウス事業

ハウススタッフが
利用者の皆様に寄り添います。

離島や遠方から本島の医療機関に通院または入院する病児とその家族が心身ともに安らぐことが出来るよう、宿泊施設「がじゅまるの家」を、認定NPO法人わらびの会へ委託し、施設運営を行っています。



詳細は、HPをご覧ください。
「ファミリーハウスがじゅまるの家」で検索、
もしくはQRコードをお読み取りください。

